

日本社会医学会

社会医学研究レター

Vol.11No.2 2003年4月

発行/日本社会医学会事務局 (滋賀医科大学予防医学講座)

第44回日本社会医学会総会

開催案内 (第2報)

社会福祉・社会保障の構造改革と国民の生存権・健康権をメインテーマに

イラク戦争が開始され、この世界から戦雲がまだまだぬぐい去れていないことを知らされているこの頃ですが、わが国においても国民の健康と医療、公衆衛生、福祉に深刻な危機があらわれようとしております。他方では、このことを重大に受けとめて健康と福祉の危機打開をめざす底流的動きが活発化しております。

この時期に開催する日本社会医学会総会では、これらの動向を見すえつつ社会医学の発展に寄与できるような発表と議論を期待しております。あわせて未来を見通すことが出来るような企画にしたいと願っております。

このような趣旨にもとづいて、下記の要領で第44回社会医学会総会を開催いたします。社会医学の暑い夏を京都で経験されるよう会員多数のご参加を期待し、社会医学のいっそうの発展を祈念いたします。

メインテーマ： 社会福祉・社会保障の構造改革と国民の生存権・健康権

期日： 2003年7月26日(土) 午前10時～7月27日(日) 午後3時

会場： 同志社大学今出川校地

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

参加費： 一般 会員 3,000円、非会員 4,000円

学生・院生 会員 1,000円、非会員 2,000円

連絡問い合わせ： 第44回日本社会医学会総会運営委員会事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学文学部社会学科 千田研究室

電話 075-251-3446 / FAX 075-251-3066 / E-mail tchida@mail.doshisha.ac.jp

その他： 学会への入会申し込み等の問い合わせ先は 日本社会医学会事務局へ

〒520-2192 大津市瀬田月輪町滋賀医科大学予防医学講座、電話 077-548-2187

第44回日本社会医学会総会

◆ 企画の柱

第44回日本社会医学会総会の企画の柱を紹介します。

1、教育講演

1. 社会医学の系譜と新展開

「社会医学と環境公害問題」；

吉田克己(三重大学名誉教授)

2. 労働衛生の新展開；

「現場に密着した労働衛生をめざして」

千田忠男(同志社大)

2、メインシンポジウム

1. テーマ

「社会福祉・社会保障の構造改革と

国民の生存権・健康権」

司会：松田亮三（立命館大学）

尾藤廣喜（弁護士）

2. シンポジスト

1) 介護保険制度の理想と現実；

石倉康次（広島大学）

2) 医療経営分析から見た医療制度の危機；

野村秀和（日本福祉大学）

3) 支援費制度に見る福祉構造改革批判；

植田章（佛教大）

3、要望課題

つぎの課題をとくに要望いたします。

1. 路上生活者(ホームレス)の健康と生活保障問題

2. 続発する薬害へのアプローチ

3. 過労死・過労自殺の実態

4. いまだ克服できぬ環境・公害問題

5. 子どもの健康と障害児の問題

6. 介護保険制度の現状と課題

4、一般演題

上記要望課題とかかわりなく、社会医学に関連する一般演題を募集します。

◆ 演題の応募と講演集原稿作成要領

第44回日本社会医学会総会で演題発表および自由集会を希望される方は、下記の要領で演題および企画を応募して、講演集の原稿を提出してください。

1、資格

演題発表される方は日本社会医学会会員にかぎりがあります。共同発表者はそのかぎりではありませんが、できるだけ学会に加入していただくようにしてください。自由集会を企画される方は日本社会医学会会員にかぎりがあります。

2、演題・自由集会の応募について

「演題応募用紙」に必要事項を記載して、つぎの要領で事務局までFAXまたはE-mailで応募してください。

1) 応募の締め切りは、6月14日(土)です。

2) 一般演題の報告時間は、1演題あたり25分で、発表15分と討論10分を予定します。

3) 演題発表は講演集をもとに行います。スライド、OHPはできるだけ使用しないように工夫してください。資料等を映写したいときには全会場でスライド、OHPを使用できるように配置します。液晶プロジェクターは事前に相談ください。かならず、演題応募用紙に使用希望を記入ください。

4) 応募の受領通知は、受付後1週間以内にFAXまたはE-mailでお知らせいたします。

5) 自由集会の申し込みも演題応募用紙を利用ください。講演集原稿は不要です。

3、講演集の原稿作成と提出について

演題発表用の講演集原稿は原則として図表を含めてA4用紙1枚とします。ただし、2枚まで可能です。シンポジウム報告はA4用紙2枚以内とします。原稿をそのまま写真印刷しますので、下記の要領に従って作成して郵送してください。

1) 原稿はワープロを用いて作成してください。

マージンは上下左右とも30mmとってください

い。文字数は横40字、縦40行に設定し、2段組みにしてください。

2) 1行目に演題名(タイトル)を書き、センタリン

第44回日本社会医学学会総会

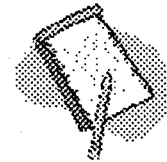
グしてください。

- 3) 演題名から1行あけて発表者名と所属を記入し(氏名のあとに()で所属を記入する)、センタリングしてください。共同発表者がいる場合には、実際に発表する人を冒頭にしてください。発表者の氏名(所属)が長い場合場合には数行に分けて記入してください。
- 4) 発表者名からさらに1行あけて本文を書き始めてください。本文は2段組で、中央に2字分のスペースをとってください。2段組の1行の文字数は19字になります。2枚目には最初から本文のつづきを記入してください。
- 5) 活字の大きさは演題名(タイトル)12ポイントで強調文字またはゴシックにしてください。本文は10.5ポイントにしてください。
- 6) 図表は見やすいように適当に配置してください。図表を別に作成して切り貼りによって配置しても結構です。

- 7) 作成した原稿は2部(1部はコピーでも可)、フロッピーディスクとともに、下記の運営委員会事務局宛に、6月30日(月)必着で郵送してください。
- 8) 原稿はできるだけWindowsで作成し、フロッピーディスクにテキスト形式で保存し、演題名、所属、氏名、使用機種、使用ソフト名を記入したシールを貼ってください。

4. 応募先

宛先: 第44回日本社会医学学会総会運営委員会事務局
住所: 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学文学部社会学科 千田研究室
緊急時連絡先:
電話 075-251-3446 FAX 075-251-3066
E-mail tchida@mail.doshisha.ac.jp



2002年度第1回理事会議事録

日時: 2002年10月22日
会場: ソニックシティ会議室 809号室(さいたま)
出席: 上畑、逢坂、片平、関谷、波川、田村、西山、山田
欠席: 黒田、多々羅、埜田、千田、仁平、福地、宮尾、山崎

<報告>

1. 第43回総会企画運営委員会報告
2. 第44回総会企画運営委員会報告
3. 編集委員会
4. 関西社会医学セミナー(仮称)の企画
5. 社医研レター第11巻第1号の企画

<審議>

1. 学会誌編集委員会の構成と役割
「現代の社会医学」(仮称)の刊行方針とともに次回理事会で審議することとなった。
2. 選挙管理委員会の構成と役割
関東ブロックの理事が具体案を作成し、次回の理事会に提案することとなった。

3. 第43回総会(2002.7.28)で提案された社会医学研究の活性化・奨励・支援のための研究倫理審査委員会設置について

まず学会誌への投稿論文査読時のチェックの改善をはかることとなった。編集委員会が編集方針・投稿規程・査読ガイドラインなどにおける倫理面の具体的な検討を行うこととし、その検討結果を受けて理事会で再度審議することとなった。

4. 社医研レターの企画

社会医学関係の書籍のレビュー投稿を社医研レターなどで会員に呼びかけること、欧文雑誌Social Medicineの邦訳目次を随時掲載することとなった。

5. 監査体制

第43回総会時に出された、監査の役割、監査のやり方・形式、監査報告は口頭だけでよいか、監査の選出方法、特別会計分離などの意見については、現監査による検討を待って、今後の理事

会で審議することとなった。

6. 第45回総会

山口県で開催予定の第45回総会について理事会では波川理事が担当し、田村理事が補佐することとなった。

7. 学会奨励賞

今年度は第44回総会発表者の中から選考することとし、選考対象は、40歳未満の会員で応募のあった者とする方向でさらに検討を進めることとなった。

8. 会員拡大

入会呼びかけ文、会則、入会申込書、社医研レターのセットを用意し、各会員が関係する学会、その他で配布することにより当面の会員拡大をはかることとなった。

編集後記

国立大学の統合や独立法人化の流れが国民の議論を抜きに推し進められています。学長の権限を強化し、大学外部の企業家や行政官が大学運営や大学のあり方に直接かわれるシステムが導入されようとしています。国民生活とのバランスを欠いた企業利潤の追求が大学の名で行われるのではないかと危惧する声が絶えません。

国民の声に支えられた社会医学研究がますます必要となります。福祉や看護や教育など国民の健康や生活にかかわる人達の本学会への参加を心より願います。

国立公衆衛生院における卓越した教育者であられた

故橋本正己先生への追悼のことば

西 三郎 (元国立公衆衛生院衛生行政学部長)

橋本正己先生は、1月26日(土)肺炎のため85歳でご逝去され、生前に親しくておられた教会にて、近親者と親しい信者の方々とで1月30日(木)にご葬儀をなさいました。先生のご冥福をこころからお祈り申し上げます。

先生は、復員後大阪府の保健所に勤務され、当時の保健所職員の実態を見て、国立公衆衛生院における教育研修の重要性を深く認識され、厚生省に意向され、昭和32年から57年の間国立公衆衛生院衛生行政学部長として公衆衛生に関する教育研究に従事され、公衆衛生院の重鎮として活躍され、退官後に埼玉県立衛生短期大学学長にられました。

昭和34年国立公衆衛生院次長曾田長宗先生を支えて社会医学会の前進の社会医学研究会の設立準備を取り仕切られ、曾田先生が初代の社医研代表世話人、橋本先生が事務局長として翌年第1回研究会総会を開催されました。衛生行政学部の小生と川島志津氏が事務局長となり、後に公衆衛生院に來られた相磯富士雄、前田信雄両先生も加わり、毎年開催される研究会総会に、数多くの公衆衛生院の医学科等の学生有志が参加協力されました。学生たちは、卒業後に研究会会員として研究成果の発表を含め、研究会に協力し、現在の学会の基礎を築くことができました。代表世話人及び事務局を昭和53年総会より大阪大学朝倉新太郎教授、公衆衛生学教室にお願いし、橋本先生は、当研究会の基礎固めのお役目を終了されました。その後、退官されるまで、公衆衛生院の改革にご尽力されました。

最後に、衛生行政研究の推進、公衆衛生職員の研修制度の確立、社会医学会の基礎づくりに多大の貢献をなさいました故橋本正己のご冥福をお祈り致し、追悼の言葉と致します。

演題応募、連絡用紙

第44回日本社会医学会総会

企画委員長 山本 繁

運営委員長 千田忠男

下記の事項にご記入の上、6月14日(土)までに、FAX 075-251-3066
または E-mail : tchida@mail.doshisha.ac.jpに送信してください。

演題発表者氏名：

所属：

連絡先住所：〒

連絡先 FAX 番号：

電話番号：

Eメール：

共同発表者氏名（所属）：

演題名：

希望するセッション（希望するセッションに○をつけてください。プログラム編成上の参考させていただきます）

- | | | |
|--------------------|----------------|---------|
| 1. 労働衛生・産業保健 | 2. 地域保健福祉 | 3. 学校保健 |
| 4. 親子保健 | 5. 精神保健 | 6. 歯科保健 |
| 7. 感染症対策 | 8. 薬害 | 9. 環境保健 |
| 10. 高齢者の保健医療福祉 | 11. 障害者の保健医療福祉 | |
| 12. 保健医療制度・政策・公衆衛生 | 13. 社会学の方法論と教育 | |

スライド、OHPの使用希望

<ここは記入しないでください>

受付日

受付方法

受付番号

受領通知